

エンジョイ！軟式野球フェスティバル2026奈良県予選大会規則

1. 2026年度公認野球規則及び、全日本軟式野球連盟規則(学童野球に関する事項)によって行う。
2. 試合は、トーナメント方式で行う。
3. 試合は6回戦とし、試合時間は90分とする。6回終了時点または90分を経過し、同点の場合はタイブレーク方式を2回行う。それでも勝敗が決まらない時は、抽選をもって勝敗を決定する。
なお、決勝戦は投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまでタイブレーク方式を続行する。
【タイブレーク方式】
無死1・2塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。
4. 4回以降7点差が生じた場合は、点差によるコールドゲームを適用する。
なお、決勝戦も同じくコールドゲームを適用する。
5. 投手は、投球制限で1日70球以内(4年生以下は60球以内)とし、1週間の投球数を210球以内(4年生以下は180球以内)とする。打者の途中で70球に達した場合は、その打者が打席を完了するか攻守交代するまで投球できる。
6. 暗黒、降雨で試合が中止となった場合、4回終了以降であれば正式試合とする。
試合が成立しない場合は、次の日の第一試合に先立って特別継続試合を行う。
【特別継続試合】
① もとの試合の中断された箇所から再開する。もとの試合で投げられる球数も引き継ぐが、特別継続試合の日がダブルヘッダーになる場合、特別継続試合の投球数を含めて1日70球の投球制限とする。
② 両チームの出場者と打撃順は、試合が中断されたときと全く同一でなければならない。ただし、規則によって認められる交代は許される。なお、もとの試合前に提出された打順表に記載されていない者は出場できない。
7. 指名打者制度(DH)を適用する。ただし二刀流選手(大谷ルール)は採用しない。
8. 選手交代は監督が告げる。作戦タイムで監督等がマウンドに行く時は速やかに指示すること。
タイム時間は1分間を限度とする。但し、審判員が必要と認めた場合は、この限りではない。
9. 守備時間が長い場合(20分を目安)には健康管理を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることがある(ロスタイムとして処理し、残り時間を両チームに知らせる)
10. 前進守備時の野手の位置については、野手の安全を考慮して、投手がリリースするまでは塁間の半分より前には出はならない。
11. 頭部へのヒット・バイ・ピッチは、その程度を問わず臨時代走の処置を行う。
12. 投手の変化球は、反則投球とする。
① 変化球に対しては、ボールを宣告し、投げないように監督および投手に厳重注意する。
② 同一投手が同一試合で再び変化球を投げた場合、その投手を交代させる。
③ その投手は他の守備位置につくことは出来るが、大会期間中投手として出場することは出来ない。
④ 変化球の判断は、審判員によることとし、抗議は一切許されない。
13. ピッチクロック(投手の12秒及び20秒ルール)及びバッタースボックスルール(アマチュア野球内規②)を適用する。
14. 試合球は奈良県軟式野球連盟指定球J号を使用する。
15. 同じチームの各プレーヤー(監督・コーチを含む)は、同色・同系・同意匠のユニホーム(帽子・アンダーシャツ・ストッキング・ベルト)を着用のこと。
16. 背番号は、選手は0番から99番とし、主将は10番、監督は30番、コーチは29番、28番とする。
17. 捕手は連盟公認の捕手用ヘルメット、マスク(SG規格(少年)、スロートガード付)、プロテクター、レガース、ファウルカップを着用しなければならない。
18. 打者、次打者、走者、ベースコーチ及びボールボーイは、両側にイヤーフラップのついた連盟公認の軟式野球用ヘルメットを必ず着用しなければならない。なお、ヘルメットは9個以上準備すること。
19. 金属製バットの使用は、JSBBのマークの付いたものに限る。なお、一般用バットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等の素材の弾力体を取り付けたバットの使用は禁止する。少年用バットの使用制限は行わない。
20. スパイクの色は自由とするが、金属製スパイクの使用は認めない。
21. 責任者が参加しないチームは、出場を認めない。
22. ベンチに入れる者は、責任者、監督、コーチ2名、スコアラー1名、選手20名以内とする。
他に健康管理者(保護者でGパン、短パンは可。スカート不可)2名もベンチにいることを認める。
但し、選手は最低10名以上参加させなければならない。9名以下の場合は棄権扱いとする。
23. 試合開始時刻になっても試合会場に到着しないチームは、棄権扱いとする。
但し、不測の事故等の事情により試合時刻に遅れた場合、役員が協議の上、決定する。
24. ベンチは、組合せ番号の若い方を一塁側とする。(ダブルヘッダーの時はベンチの入れ替えは行わない。)
25. 審判員の判定に対しての抗議は、一切認めない。但し、審判員が規則の適用を誤った場合は認める。
26. ベンチ内で電子機器類(携帯電話、パソコン等)、携帯マイクの使用を禁止する。ただし、電子スコア記録用として1台の使用を認める。また、指示用にメガホンは1個に限り使用を認める。
27. 打順表の提出は、その日の第1試合の場合は開始予定時刻の30分前に、監督と主将が持参し、攻守を決定する。第2試合以降は、前試合3回終了後に行う。
28. 試合中、不正選手が発覚した場合は、直ちに没収試合とし、相手チームの勝ちとする。試合終了後に発覚した場合は、次の対戦相手に勝ちを与えるものとする。
29. チーム又は、自応援団が暴言を吐いた場合、理由の如何に拘らず没収試合とする。処分については、後日、役員が協議の上決定する。
30. 大会中の負傷、疾病については、応急処置を施すが、それ以外の責任は負わない。
31. 雨天の場合は、午前7時に奈良県軟式野球連盟奈良支部事務局(080-2456-1350)まで問い合わせてください。